

【2025 年 10 月 10 日】
送付件数 本票含め 2 枚

報道機関 各位

山口大学講演会「学術や研究とは何だろうか？～私の経験から～」を開催

10 月 21 日（火）に、2015 年ノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章氏を講師にお迎えし、講演会を開催します。本講演会では、ノーベル賞を受賞されるに至った「ニュートリノ質量の存在を示すニュートリノ振動の発見」について、また、大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」について、そして日本学術会議の会長を務められた時のご経験をもとに研究や学術についてお話しいただきます。この講演会は、ベテラン研究者はもちろん若い研究者やこれから研究者を目指そうとする人、今まさに学問を学んでいる学生さんや彼らを取り巻く教職員および保護者の皆さまに、学術・研究の意義について広く発信したいと企画しました。

つきましては、広く周知いただくとともに、当日の取材・報道等について、ご高配賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※当日取材いただける場合は、10 月 17 日（金）16 時までに下記【お問い合わせ先】までご連絡ください。なお、当日のインタビューには対応できませんが、事前であれば時間学研究所長が対応いたします。

日時：2025 年 10 月 21 日（火）17 時 30 分～19 時 00 分
※講演 1 時間、質疑応答 30 分を予定しています。
会場：山口大学大学会館大ホール（山口市吉田 1677 - 1）
および zoom
対象：研究者、山口大学教職員・学生、市民一般

梶田隆章氏プロフィール

東京大学卓越教授、特別荣誉教授、東京大学宇宙線研究所・教授
2015 年ノーベル物理学賞受賞、前日本学術会議会長

梶田隆章氏の大きな業績の一つは「ニュートリノ質量の存在を示すニュートリノ振動の発見」です。ニュートリノとは物理学の根本にかかわる素粒子の一種です。ニュートリノを検出するのは大変難しく、そのためニュートリノの性質には多くの謎が残されています。

梶田氏はニュートリノ観測装置スーパーカミオカンデを使って、大気中で発生するニュートリノの観測、太陽ニュートリノの観測、そして人工ニュートリノによってニュートリノ振動という現象を発見しました。ニュートリノの性質を解明することは、宇宙の初期に物質がどのように作られたかという謎に迫ることにつながり、物理学に新しい世界を開きました。この成果が認められて 2015 年のノーベル賞受賞となりました。

2008 年から 2022 年までは東京大学宇宙線研究所の所長を務められ、現在も同研究所の教授として、大型低温重力波望遠鏡 KAGRA の研究代表を務められています。ブラックホールの合体などによって生じる時空の波である重力波を捉える装置が重力波望遠鏡です。また、2020 年から 2023 年まで、梶田氏は日本学術会議の会長を務められました。日本学術会議は日本の科学者の代表機関であり、日本の学術を発展させ、またその成果を社会に還元する役割を担っています。梶田氏は、日本の学術の代表として、学術や研究とは何かということについて最も深く考え、また広く発信されてきた方です。

【お問い合わせ先】

◆本件に関する詳細は下記までお問い合わせください
山口大学 時間学研究所 事務室
TEL 083-933-5848/ FAX 083-933-5848
E-mail sh076@yamaguchi-u.ac.jp

発信者 国立大学法人山口大学
総務企画部総務課広報室
〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL 083-933-5007
FAX 083-933-5013
E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学講演会

学術や研究とは

何だろうか？ 私の経験から

私は今まで40年以上、ニュートリノや重力波などの基礎科学の研究に携わってきました。
またこの間に学術会議の会長も経験し、その時にもいろいろと考えさせられることがありました。
これらの経験を紹介し、それをもとに皆さんと
学術や研究とは何だろうかと思えます。



梶田先生と
一緒に
集合写真を
撮ろう!!

梶田隆章氏

(東京大学卓越教授・特別荣誉教授)

PROFILE

東京大学卓越教授・特別荣誉教授
2015年ノーベル物理学賞受賞、前日本学術会議会長

1998年、観測装置スーパーカミオカンデを使って、ニュートリノ振動という現象を発見し、物理学に新しい世界を開く。2015年、「ニュートリノが質量をもつことを示すニュートリノ振動の発見」でノーベル物理学賞を受賞した。

2008年から14年間にわたり東京大学宇宙線研究所の所長を務め、現在も同研究所の教授として、大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」の研究代表を務める。日本の科学者の代表機関であり、日本の学術を発展させ、またその成果を社会に還元する役割を担う日本学術会議の第25期会長を務めた。日本の学術の代表として、学術や研究とは何かということについて最も深く考え、広く発信している。



2025.10/21 Tue

17:30～19:00 (開場17:00)

対象 | 研究者、山口大学教職員・学生、市民一般

参加 | 予約不要・参加費無料

共催 | 国立大学法人山口大学、HIRAKU-Global

協力 | 山口大学時間学研究所

後援 | 山口県教育委員会、日本時間学会

会場 | 山口大学大学会館大ホールおよびzoom

詳細については時間学研究所ホームページをご覧ください

お問い合わせ | 山口大学時間学研究所 tel 083-933-5848

E-mail jikann@yamaguchi-u.ac.jp

